

2025年5月14日

各位

会社名 パラマウントベッドホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 木村 友彦
 (コード番号 : 7817 東証プライム)
 問合せ先 執行役員 IR 部長 南口 雄一
 (TEL 03-3648-1100)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は中期経営計画「パラマウントビジョン2030」第Ⅱフェーズ(最終年度:2027年3月)の目標につきまして、昨今の事業環境の変化や進捗等を踏まえて一部修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 重点施策(変更なし)

- 「リカーリングビジネスの拡大」
- 「健康事業の進化」
- 「アジア注力エリアでの飛躍」

2. 経営指標(変更あり)

(単位:百万円)

2027年3月期	従来目標	新目標
売上高	120,000	120,000
リカーリング取扱高 ※1	45,000	47,000
営業利益	17,000	15,000
EBITDA ※2	29,000	28,400

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。

※2 営業利益と減価償却費の合計で算出。当社グループの業態の変化を踏まえるとともに、さらなる成長投資を積極的に促進するための指標。

3. 事業別の売上目標(変更あり)

(単位:百万円)

2027年3月期	従来目標	新目標
医療事業	50,000	44,600
介護事業	65,000	72,400
健康事業	5,000	3,000

4. 海外注力エリアの売上目標（変更あり）

（単位：百万円）

2027年3月期	従来目標	新目標
インドネシア	4,500	4,000
中国	4,500	3,500
インド ※3	2,500	2,500
連結海外売上高	15,000	14,000

※3 非連結の現地法人を含むインド国内向け売上高を記載。連結売上高とは異なります。

5. 修正の背景

重点施策のひとつである「リカーリングビジネスの拡大」が着実に進捗する一方で、資材価格の高騰による原価および各種費用の上昇、国内主要顧客における設備投資・購買意欲の低迷、海外注力エリアにおける政策動向などにおいて、想定を上回る厳しい事業環境が継続する見込みであることから、それらの影響を踏まえて修正いたします。

詳細につきましては、添付資料「中期経営計画 第Ⅱフェーズ（2024.4～2027.3）のアップデート」をご参照ください。

（注）上記の業績目標等将来に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

中期経営計画 第IIフェーズ (2024.4～2027.3) のアップデート

2025年5月14日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

1. 中計の位置付け（変更なし）
2. 重点施策（変更なし）
3. 経営指標（変更あり）
4. 株主還元とキャッシュアロケーション（変更あり）

1. 企業理念・ビジョン・中計の位置付け（変更なし）

企業理念

先進の技術と優しさで、快適なヘルスケア環境を創造します

ビジョン

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで、すべての人に笑顔を

中期経営計画

第Ⅰフェーズ (2020.4～2024.3)

第Ⅱフェーズ (2024.4～2027.3)

第Ⅲフェーズ (2027.4～2030.3)

企業理念

ビジョン
ありたい将来像

中期経営計画

2. 重点施策（変更なし）

2024.3

2027.3

2030.3

第Iフェーズ重点施策

- 「現行ビジネス拡大」
- 「健康事業本格化」
- 「変革へ基盤構築」

第IIフェーズ方向性・注力ポイント

- 「リカーリングビジネス拡大」
- 「健康事業の進化」
- 「アジア注力エリアでの飛躍」



お客様のパートナーとして
「なくてはならない存在」へ

SDGsや社会貢献への取組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

WELL-BEING for all beings

3. 経営指標（変更あり）

(単位：億円)	2025.3実績	2026.3予算	2027.3新目標	2025.3比
売上高	1,085	1,130 >	1,200	+11%
リカーリング 取扱高 ※1	384	424 >	470	+22%
営業利益	129	138 >	150	+16%
EBITDA ※2	241	259 >	284	+18%

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。

※2 営業利益と減価償却費の合計で算出。業態の変化を踏まえ、さらなる成長投資促進のための指標。

3. 事業別の売上目標（変更あり）

(単位：億円)	2025.3実績	2026.3予算	2027.3新目標	2025.3比
医療事業	402	422 ➤	446	+11%
介護事業	652	684 ➤	724	+11%
施設向け	195	199 ➤	210	+8%
在宅向け	457	484 ➤	514	+12%
健康事業	16	23 ➤	30	+78%

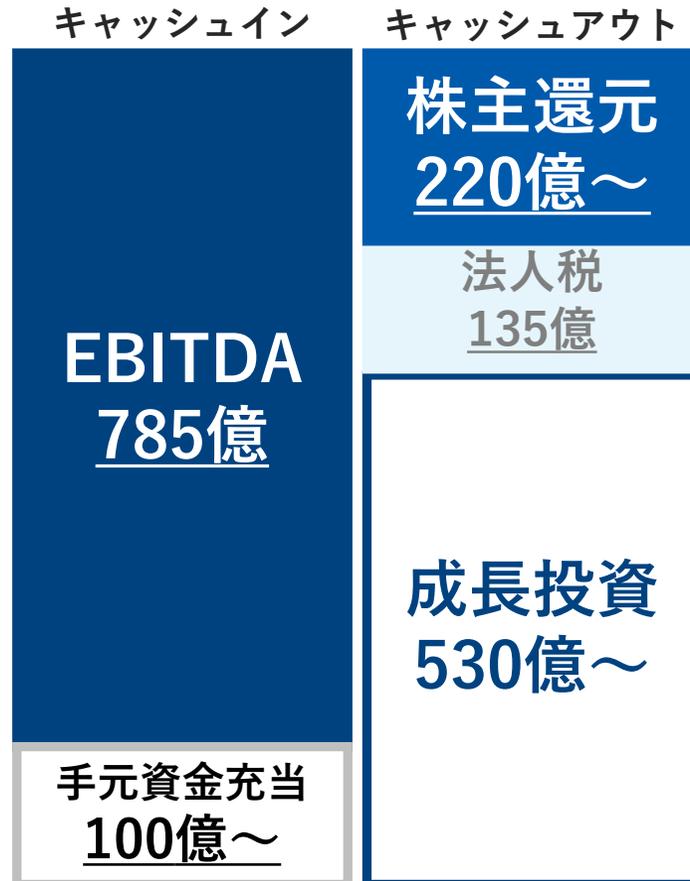
3. 海外注力エリアの売上目標（変更あり）

(単位：億円)	2025.3実績	2026.3予算		2027.3新目標	2025.3比
インドネシア	32	39	➤	40	+24%
中国	28	34	➤	35	+24%
インド※	19	23	➤	25	+31%
連結海外売上高	100	115	➤	140	+39%

※非連結の現地法人を含むインド国内向けの売上額を記載。連結売上高とは異なります。

4. キャッシュアロケーション（変更あり）

第IIフェーズ期間累計



株主還元

配当は純資産配当率(DOE)5.0%を目安

市場環境等を勘案した機動的な追加還元を検討

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／新基幹
システム導入促進

事業発展に向けたCVC投資などを含めた他社連携を
積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

+ 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持



WELL-BEING for all beings

注意事項

本資料に記載した業績等に関する将来の事項につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて想定したものです。実際は今後発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。また本資料に記載の製品・サービス（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。